

2023 年度

中央大学大学院国際情報研究科国際情報専攻修士課程

社会人特別入学試験問題

(小論文)

試験時間 90 分

これは参考のためのサンプル問題です。

実際の試験では出題形式が変わる可能性があります。

2023年度 大学院入学試験問題（サンプル問題）

研究科	専攻	課程	科目名
国際情報	国際情報	修士	小論文

社会人特別入学試験

参照不可

※問題用紙は2枚、解答用紙は1枚です。

次の文章を読んで、下記の問に解答しなさい。

インターネットの普及によって、さまざまな新しいことができるようになりました。その一方で、ネット詐欺、電子掲示板・ブログ・SNS等での誹謗中傷、大量の迷惑メール、著作権侵害、個人情報の問題、コンピュータウイルスやサイバー攻撃など、以前にはあまりみられなかった問題も深刻になっています。これらの多くは、情報がデジタル化されたことや、ネットワーク上で流通するようになったことに起因しています。

情報は、この数十年で急速にデジタル化しました。文字も音楽も映像も、記録したり伝達したりする際には、ほとんどがデジタル情報として処理されています。デジタル情報は、ある符号で記述された情報を、二進数というオン（1）とオフ（0）からなる符号に置き換えて表現する情報です。オンとオフという単純な信号はノイズの混入を最小限にできるため、コピーや伝送が高品質かつ低コストになり、①情報に関する権利侵害が容易になります。複製や伝送による品質の劣化やコストを劇的に減らせるので、大量かつ高品質のコピーを低コストで作成できます。また、数値に変換された情報は容易に加工でき、全く加工の痕跡を残さずに別の情報に作り変えることもできます。偽装がしやすく証拠としても扱いにくい面があります。実際に、捜査を担当していた検事が証拠のデジタル情報を書き換えた事がわかり、大問題になった例があります（大阪地検証拠改ざん事件：2010年10月）。

そして、デジタル化された情報がネットワークに繋がることで、情報の流通はさらに増大します。現在では、インターネットによって、あらゆる情報の伝達が、同一のプロトコルを採用したコンピュータの集合体によって行われるようになりました。情報の伝送路がインターネットに集約され、情報発信の裾野は大きく広がり、論理的には誰もが世界中に向けて情報を発信できるようになっています。一方で、世界中の雑多なコンピュータの集合体であるインターネットには、実際に何か問題が生じた場合であっても、情報の伝送を管理する者がいません。情報流通の把握や追跡、制御等が難しいため、問題が起きた際の責任追及が難しくなります。

出典) 小向太郎「インターネットの普及と情報法」中央大学国際情報学部編『国際情報学入門』ミネルヴァ書房（2020年）82-83頁より）

2023年度 大学院入学試験問題（サンプル問題）

研究科	専攻	課程	科目名
国際情報	国際情報	修士	小論文

社会人特別入学試験

参照不可

- 問1. 下線部(1)でいう「権利侵害」として、どのような侵害がなぜ問題になると考えられるのか、本文の内容を踏まえて150字程度で述べなさい。
- 問2. ネットワークの普及と問題行為との関係について、本文の内容を踏まえて100字程度で述べなさい。
- 問3. 本文であげられているインターネットの普及によって起きている問題から一つを選び、その問題を解決するためにどのような技術的対策や制度的対策が有効であるか、その対策を導入することによるデメリットはないかについて、あなたの考えを述べなさい。字数は問わないこととする。